

日本新生児成育医学会 平成27年度社員総会 議事録

日 時：平成27年10月23日（金）12：00～13：10

会 場：第2会場「小ホール」（盛岡地域交流センター「マリオス」B1階）

議 事

I. 報告事項

1. 理事長挨拶

新しい法人としては初めての社員総会を開催する。評議員211名中、出席148名、委任状提出53名にて、本社員総会の成立と開会が伝えられた。

2. 理事長報告

1) 一般社団法人日本新生児成育医学会設立の件

4月16日に大阪市で開催した臨時総会の決定により「一般社団法人日本新生児成育医学会」を設立した。新たな学会が益々発展するよう、さらなる支援が呼びかけられた。

2) 韓国新生児学会交流の件

10月23日（金）9：30～10：00に第1会場にてYeon Kyun Oh先生に「Strategy to Prevent Nosocomial Infection in NICU」のタイトルでご講演いただいた。また平成28年春の春季韓国新生児学会では、来年度会長の北島博之先生にご講演をお願いする予定である。

3) 台湾新生児学会との交流について

台湾から17名が視察に来られていて、23日には宮城県立こども病院の見学と、本学会との今後の交流についての会議が予定されている。

4) 文献許諾使用料の件

メテオ社の7～9月の文献使用料は合計1,134円（今年度合計2,484円）であった。支払い金額が税込みで10,500円を超えた時点で指定口座に振り込まれることになっている。

5) 寄付の件

メディカ出版の書籍「改訂2版 新生児慢性肺疾患の診療指針」の印税40,484円を今年も名誉会員の藤村正哲先生と理事の田村正徳先生より寄付いただいた。

6) 会計士との委託契約について

公認会計士の監査が必要なため、東京に事務所がある河村憲治公認会計士事務所と委託契約を結んだ。契約料金は年間19万円となる。

3. 会長挨拶（堺会長）

堺会長から、3日間、学会を盛り上げていただきたいとの挨拶があった。

4. 庶務報告（本間幹事）

- ・平成27年7月2日にご逝去された本会名誉会員の奥山和男先生と、平成27年2月5日にご逝去された功労会員の村田良輔先生に黙祷が捧げられた。
- ・全会員数は3,059名（昨年度報告数3,289名）、非医師111名、名誉会員28名、功労会員64名、評議員211名、購読会員28件、新入会171名、退会者276名などが報告された。平成26年度末資格喪失退会者は96名。平成27年度末（9月30日）時点で2年間会費未納の198名は第60回学術集会終了後に資格喪失退会となる。

II. 決議事項

第1号議案 平成27年9月期（平成27年4月16日～平成27年9月30日）決算書類承認の件（楠田理事長）

一般会計、特別会計（事務所移転積立金、学会賞基金、佐多フェローシップ、若手新生児科医フェローシップ、総会補助金）の各決算について資料に基づき説明が行われた。船戸監事による監査報告も行われ、承認された。

第2号議案 平成28年9月期（平成27年10月1日～平成28年9月30日）事業計画および収支予算の件
（楠田理事長）

平成28年度予算について資料に基づき説明・報告があり、承認された。例年の予算に加えて、役員選挙の費用が加算されている。

現在、会費の納入率が80%であるため、今後、銀行やクレジットカードからの会費自動引き落とし制度の導入を検討していくこととなった。

第3号議案 定款施行細則変更の件

以下の定款施行細則の変更案が出され、承認された。

- ・第19条7項 現 行：得票多数を得たものより順次15名を当選者とし、得票数が同数であるときは年長の者を当選者とする。変更案：得票多数を得たものより順次15名を当選者とし、得票数が同数であるときは会員歴の長い者を当選者とする。
- ・第22条8項② 現 行：得票多数を得たものより順次、当選者とし、得票数が同数であるときは年長の者を当選者とする。変更案：得票多数を得たものより順次、当選者とし、得票数が同数であるときは会員歴の長い者を当選者とする。
- ・第25条 現 行：学術集會長は理事会において理事より選任する。変更案：学術集會長は理事会において原則として理事より選任する。

第4号議案 学術集會會長に関する件

1) 平成29年（第62回）学術集會 會長に関する件（楠田理事長）

側島久典理事（埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター新生児科）が理事会で推薦され、承認された。

2) 平成30年（第63回）学術集會 會長に関する件（楠田理事長）

与田仁志理事（東邦大学医学部新生児学講座）が理事会で推薦され、承認された。

第5号議案 各委員会からの審議事項

特になし

第6号議案 功勞会員推戴の件

新しい内規に則って理事会より13名（市橋 寛、犬飼和久、大笹幸伸、大野 勉、金原洋治、龜山順治、木下 洋、沢田 健、玉井 普、中江信義、福田清一、渡辺とよ子、林谷道子〈敬称略〉）を推薦し、承認された。

Ⅲ. 各種委員会報告

1) 日本新生児成育医学会賞選考委員会（楠田委員長）

平成27年3月に学会賞選考委員会を開催し、平成26年度日本新生児成育医学会賞受賞論文が原田明佳氏（大阪市立総合医療センター新生児科）の「大阪府新生児死亡登録事業からみた死亡原因別の新生児死亡統計」に決定した。

2) フェローシップ選考検討委員会（楠田委員長）

今年度の若手新生児科医フェローシップ採用者23名が報告された。会期中にそれぞれ演題を発表される。該当演題には抄録集・プログラム集の中に★印をつけ、懇親会会場および演題発表時には「若手新生児科医フェローシップ」と書かれた赤い名札を着用しているので温かい声かけをと呼びかけられた。また、佐多フェローシップは本日11:50～12:00第2会場にて「Team King's」と題し小田 新先生に報告を行っていた

だいた。

- 3) 雑誌編集委員会（加藤委員長）
査読の協力依頼が述べられた。また10月25日（日）9:00～10:00に開催される「論文執筆と査読のためのセミナー」への積極的な参加が呼びかけられた。
- 4) 教育委員会（中村委員長）
調査の結果、過去10年の教育セミナーの参加者うち、80%が現在も本学会の会員で、その中の20%が新生児専門医であることが分かっているので継続して続けていきたい。また、一昨年から開催している初期研修医向けセミナーを来年度からは「医学生・研修医向けNICU入門セミナー」と名称を変更し、5月21日（土）～22日（日）に名古屋で早川理事のもと、開催することとなった。
- 5) 社会保険委員会（中尾委員長）
平成28年度診療報酬改定に向けて、関連学会と共同して、内保連に要望事項を提出した。診療報酬に対する意見があれば委員会までお寄せいただきたい。
- 6) 薬事委員会（板橋委員長）
小児科学会を通じて、チョコラAの継続提供要望書を厚生労働省に提出することについて理事会で承認を得た。また、無呼吸発作の薬物療法に関して引き続き委員会で検討を行っていく。プライオリティリストについて、ぜひ意見をいただきたいと呼びかけられた。
- 7) 輸血問題委員会（細野委員長）
報告なし。
- 8) 医療器材の安全性確認委員会（猪谷委員長）
ホームページを通して、アイノフローからのガス漏れに関する報告が寄せられ、メーカーと協議を重ねた結果、漏れた時の対処法をステッカーに記載することとなった。今後順次、ステッカーが貼られていくことになる。今後も、医療器材にトラブルや不具合があれば報告するよう呼びかけられた。
- 9) サーベイランス委員会（長委員長）
・「急性期離脱後の極低出生体重児に発症する原因不明の溶血性貧血」は6月で調査期間を終了し、登録件数30件、確定診断例22件。今後、報告書が提出される予定である。「先天性間質性肺疾患」は、平成27年8月末までに107件の相談があり、27例を先天性間質性肺疾患と診断した。うち、14例について遺伝子変異を同定した。現在、新たなサーベイランスの対象疾患を募集している。
・サーベイランス報告を、「該当なし」も含めてWebからの登録にするため、システムを構築中である。
- 10) 規約改定委員会（和田委員長）
特になし。
- 11) 学術集会の在り方検討委員会（梶原委員長）
松山での学会長の経験を生かし、堺会長、北島会長に業務内容を引き継いだ。学術集会終了後、アンケートを行うので協力が呼びかけられた。
- 12) 広報委員会（側島委員長）
現在、ホームページ上にて女性医師の労務環境に関するアンケート調査を行っている。協力が呼びかけられた。
- 13) 倫理問題検討委員会（福原委員長）
『「重篤な疾患を持つ新生児の家族と医療スタッフの話し合いのガイドライン」をもっと活用しやすくなるように多職種で話し合おう』というワークショップを学術集会中に開催予定である。
- 14) 利益相反小委員会（和田委員長）
学術集会、学会雑誌ともに特に問題はなかった。
- 15) 医療の標準化委員会（高橋委員長）

小児がん全国登録委員会会長の別所文雄先生らと低出生体重児の肝芽腫に関するガイドライン作成作業を行っていく予定である。

・サーファクタント補充療法ガイドライン策定小委員会進捗状況（長委員長）

構造化抄録、解説文作成のルールが完成したため平成27年中にパブリックコメントまで到達することを目標にガイドラインの原案の作成を開始している。

16) 医療訴訟問題検討委員会（早川委員長）

1月に新生児医療連絡会の施設代表を対象に各施設における係争事例についての調査を行った。本委員会の存在を知らない方が6割程度いたので、これから周知していきたい。

17) 医療提供体制検討委員会（茨委員長）

新生児医療に従事している医師の勤務状態と若手の育成がどのように行われているのかのアンケートを行う予定である。また、新生児病室内におけるいわゆる「ひとり飲み」の実態についてもあわせて検討予定である。

18) 感染対策予防接種委員会（北島委員長）

10月にNICU感染症のアンケート調査とNICUにおける新生児深在性真菌感染症のアンケート調査をNRN施設宛にメールにて実施した旨報告があった。また、我が国の新生児集中治療室における抗菌薬使用状況の横断調査の中間報告を学会中発表予定である。

19) 男女共同参画推進委員会（河野委員長）

女性医師の労働環境に関するアンケート調査を学会webサイト上で9月30日に開始した。全医師を対象にしているため、男性医師にも協力いただきたい旨報告があった。

20) 災害対策委員会（和田委員長）

災害時の新生児医療体制復旧手順 Ver.2の改定作業を予定している。

21) 産科医療補償制度対応委員会（田村委員長）

産科医療補償制度の対象が拡大されているため、確認するよう呼びかけられた。申請期限は、満5歳までとなっている。ポスミンの過剰投与が問題になっているため、再発防止委員会からの提言として、0.01%アドレナリンのプレフィルドシリンジの発売の要望書を提出予定である。

22) 小児慢性疾患対策委員会（板橋理事）

特になし。

IV. 会長挨拶

第61回会長：北島博之理事（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科）

平成28年12月1日（木）～3日（土）、大阪国際会議場にて、『「おさなご」を発見しよう!』をテーマに開催予定である。

第62回会長：側島久典理事（埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター新生児科）

平成29年10月12日（木）～14日（土）、大宮ソニックシティにて開催予定である。

第63回会長：与田仁志先生

平成30年11月22日（木）～24日（土）、都市センターホールで開催予定である。

V. 新功労会員への感謝状の贈呈

新功労会員を代表して沢田 健先生に感謝状が授与された。

VI. 学会賞受賞者への賞状の贈呈

大阪市立総合医療センター新生児科 原田明佳先生に賞状と賞金が授与された。